


令和2年度


2年 生徒による授業評価


令和3年1月

以下の項目について、


自己評価  4:できている


 3:だいたいできている


 2:あまりできていない

 1:できていない

授業評価  4:そう思う

 3:だいたいそう思う

 2:あまり思わない

 1:思わない

の4段階法で評価しました。

自己評価

- ① 授業開始時刻には、宿題や持ち物など指示された準備をして授業に臨んでいますか
- ② 授業中、先生や友達の話をしっかり聞いていますか
- ③ 授業中、自分の考えをもって意欲的に取り組んでいますか
- ④ 授業の中で、話し合ったりお互いに考えを深めたりしていますか
- ⑤ ノートやワークシート、レポートなどに自分の考えをまとめていますか
- ⑥ 学んだことを忘れないように復習または見直しをしていますか

授業評価

- ⑦ 授業の開始・終了時刻が守られていますか
- ⑧ 授業では学習の目標（めあて・ねらい）を示したり、振り返り（まとめ）の活動を行っていますか
- ⑨ 授業はわかりやすく教えてくれたり、考えさせてくれたりしますか
- ⑩ 電子黒板やICT機器を工夫して効果的に授業を進めていますか
- ⑪ 先生が用意するワークシートや資料類は授業に効果的ですか
- ⑫ 授業を受けることで、この教科・科目に対する興味が深まりましたか

※集計欄の数値は各項目の平均値です。2.5が中央値、3を超えれば良好な評価といえます。

※グラフは「自己評価」「授業評価」それぞれの評価値の分布です。1～4の値をつけた度数の割合を示しています。

凡例: 自己評価 4:できている 3:だいたいできている 2:あまりできていない 1:できていない
 授業評価 4:そう思う 3:だいたいそう思う 2:あまり思わない 1:思わない

生徒による授業評価のまとめ

教科	今後の授業における具体的な施策／改善策 (生徒に要求するもの)	今後の授業における具体的な施策／改善策 (教員が授業で改善していくもの)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
2年国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の学習については、形を覚えるだけでなく、意味まで捉えられると単なる暗記からの脱却することができます。なるべく語彙を増やせるように、授業開始の漢字の時間をいっそう大切にして取り組んでみてください。 ノートやワークシートに自分の考えを記入する習慣を身に付けていきましょう。あとで振り返った時に、自分の思考の流れを見ることができます。 読む題材においては、根拠は文章の中に潜んでいます。なぜそのように考えたのか、本文を基に説明できるようにすれば理解が深まります。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返る時間をしっかり確保し、その時間の学習内容を見直せる時間を取るように工夫します。その際は、自分の言葉で書いたり話したりする活動ができるようにします。 国語への関心が高まるような資料提示と、板書する内容を厳選した上で、書き写す際は時間を十分に確保して、よりテンポのよい授業が展開できるように工夫していきます。 発表の場や意見を交流する活動を積極的に取り入れ、深い学びへとつなげていけるようにします。 	3.7	3.7	3.5	3.5	3.4	2.9	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.5
2年社会	<ul style="list-style-type: none"> 普段の授業で、発表できる人が増えてきました。自分以外の人の意見を聞くと、新しい発見が生まれることを、楽しんでほしいと思います。 ノートに授業のメモや感想を書く習慣も、多くの人が身に付けています。メモを取ると、集中して授業をうけることができます。感想を書き留めておくことも、自分の考えをはっきりと認識する良い方法です。これからも続けてください。 復習については、ワークの宿題提出日が提示されるのを待つのではなく、授業の進度に合わせて、自主的に進めておくことをお勧めします。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業のプリントや電子黒板で提示する資料を生徒の関心が高められるような内容にし、また、引き続きDVD教材の作成を進めていくことで、生徒がより発言しやすい雰囲気づくりをしていきます。 試験前の復習のために、試験対策プリントを早めに用意します。 授業の目標をもっと明確に示すよう工夫します。 特に歴史的分野では、振り返りの時間を効果的にとり、次の授業に生かしていきます。 	3.8	3.9	3.7	3.4	3.7	3.2	3.9	3.5	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8
2年数学	<ul style="list-style-type: none"> 授業中によく考え、理解しようとする前向きな姿勢が見受けられます。 理解し、利用することが難しい人は、必ず授業でやった問題をもう一度取り組んで確認し、ワークで練習し、何度も繰り返しながら覚えることが大切です。 おおむね理解できている人は、さらに多くの応用問題に慣れていくことが大切です。 途中式を含めた説明等の練習をする機会が、ワークとなります。答だけを書くのではなく、きちんと途中経過、説明を書く習慣を付けましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の中での話し合ったり互いに考えを深め合ったりする機会が少なかったことがアンケート結果に表れています。学び合いの学習を取り入れていきます。 単元が終わるごとに単元テストを行い、理解が不十分の人に対しては、補習を行います。 習熟度に合わせた問題演習を行い、それぞれの力を伸ばしていきます。 	3.6	3.5	3.4	2.9	3.2	2.9	3.8	3.1	3.2	3.7	3.3	3.0	
2年理科	<ul style="list-style-type: none"> 教室や理科室での実験・観察に積極的に取り組むことができている。本アンケートの質問項目を詳細に分析すると「学んだことを忘れないように復習または見直しをしていますか(3.0/4.0)」の項目の回答が他の質問項目(平均3.7/4.0)と比較すると低い結果となっています。復習を確実にしよう、家庭学習の時間を作りましょう。また、中学校生活が後半に入り、前の単元や今までの復習にも着手していきましょう。 思考力を高めるためには、論理的な考え方を意識することが必要です。根拠に基づき考えを表現する力を付けていきましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 科学的な体験の確実な実施を理科の授業の柱として、コロナ禍においても、実験用具の個別化・グループの少人数化・家庭での実験・観察の実施など工夫してきました。今年度は実験の結果に基づいて考察を深める場面(自己内対話)を積極的に設けます。考察力をさらに高めるためには、仮説を立てることが重要になります。自ら立てた仮説に基づき、事実(結果)がどうなるのか確かめ、仮説と結果を対比して論じていくと論理的な考察ができてくるからです。科学的な見方・考え方をういて思考力が高められるよう、指導の充実を図ります。 	3.8	3.8	3.5	3.5	3.5	3	3.9	3.6	3.7	3.8	3.8	3.8	3.6

凡例: 自己評価 4:できている 3:だいたいできている 2:あまりできていない 1:できていない
 授業評価 4:そう思う 3:だいたいそう思う 2:あまり思わない 1:思わない

生徒による授業評価のまとめ

教科	今後の授業における具体的な施策／改善策 (生徒に要求するもの)	今後の授業における具体的な施策／改善策 (教員が授業で改善していくもの)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
2年音楽	<ul style="list-style-type: none"> 週1時間の授業のため、授業を集中して受け、気がついたことはメモをとる習慣を付けていくようにしましょう。 思ったことや感じたことを発言や紙に書くことで、自己表現できるように心掛けましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器ICTをより一層活用していくようにします。 歌唱では、全体練習だけでなくパート練習など細かく分かれた練習を、可能な限り取り入れていきます。 授業の終わりを意識して、時間内に歌唱指導を終えることができるように心掛けていきます。 授業のねらいを明確に示すように工夫していきます。 話し合い活動を積極的に取り入れていくに心掛けていきます。 	3.7	3.8	3.6	3.3	3.4	2.9	3.7	3.4	3.6	3.5	3.7	3.5
			<p>自己評価</p> <p>授業評価</p>											
2年美術	<ul style="list-style-type: none"> 制作中、授業態度が良くとても静かに作業することができています。反面、片付けは昨年に比べ荒くなっている生徒が見受けられます。教材は丁寧に扱いましょ。 教材に対する興味を深くもつとともに、良い発想をもつ生徒が多く見受けられます。周りの生徒の制作も鑑賞しながら自分なりの工夫を加えていきましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品を多く展示し、それぞれの作品を感じ合えるようにします。 作品に的確な助言ができるよう、制作中は常に一人一人の様子を見て回っていきます。 造形の楽しさに気付けるよう興味のもてるような教材を工夫していきます。 	3.9	3.8	3.7	3.2	2.9	2.9	3.8	3.4	3.6	3.2	3.4	3.7
			<p>自己評価</p> <p>授業評価</p>											
2年保体男	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器やワークシートの活用により、習得すべき技術を分析する力が身に付いてきています。今後は、発展させたい点や克服したい点を明確にして、具体的な練習方法を見出し、授業に取り入れられるとよいでしょう。 グループ学習やペア学習を通して、互いに教え合う活動を増やしていきましょう。そのために、より効果的に ICT機器が活用できるようにしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の目標を明確にして、生徒が課題を見つけやすくするとともに、自分たちが考えた課題解決のための練習方法を授業の中に取り入れる工夫をしていきます。 ICT機器が使いやすい環境を整えます。その上で、活用できる時間や考える時間を確保するよう工夫していきます。 	3.6	3.8	3.4	3.5	3.3	2.5	3.6	3.7	3.5	3.6	3.7	3.3
			<p>自己評価</p> <p>授業評価</p>											
2年保体女	<ul style="list-style-type: none"> 以前に比べ、準備運動や筋力トレーニングに集中できない生徒が増えてきています。体操は一つ一つの動きを正確に行い、トレーニングでは最大の力を発揮するようにしましょう。 自由練習の時間に、運動が好きで積極的に練習に取り組む生徒とそうでない生徒で、練習頻度に差が生じています。運動能力や現時点の到達レベルの差にかかわらず、現時点からの向上を第一目標に運動に取り組むようにしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 準備運動の意味や体力向上の意義の理解、活動中の観察を十分に行い、正しい活動の習慣化を図ります。 現時点からの向上に意義があることを理解させ、個々に達成可能な目標を設定するよう声掛けを行っていきます。運動の不得意な生徒には個別に指導し、運動の上達を実感し、意欲の向上を促すようにします。 	3.8	3.9	3.4	3.6	3.4	2.6	3.7	3.6	3.6	3.8	3.6	3.3
			<p>自己評価</p> <p>授業評価</p>											

凡例: 自己評価 4:できている 3:だいたいできている 2:あまりできていない 1:できていない
 授業評価 4:そう思う 3:だいたいそう思う 2:あまり思わない 1:思わない

生徒による授業評価のまとめ

教科	今後の授業における具体的な施策／改善策 (生徒に要求するもの)	今後の授業における具体的な施策／改善策 (教員が授業で改善していくもの)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
2年技術	<ul style="list-style-type: none"> どの生徒も真面目に授業を受けてとても良いと思います。特に、授業中の挙手と発言が多いことが良いと思います。今後も続けていきましょう。 実習でも真面目に作業をしてとても良いと思います。ただ作成を作り急いでしまう生徒もいるので、与えられた時間を十分に使って丁寧な作品をつくっていきましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> もう少しゆっくり説明するように心掛けます。 授業を時間内に終わられるように心掛けます。 	3.9	3.9	3.6	3.3	3.4	3.1	3.5	3.5	3.6	3.7	3.7	3.7	3.6
			<p>自己評価</p> <p>授業評価</p>												
2年家庭	<ul style="list-style-type: none"> 学習に真面目に取り組んでいる生徒が多く良かったです。 学習のまとめプリントやノートの記入において色分けしたり、図を書いたりして工夫している生徒が見受けられました。 提出物の提出や期限が守れていない生徒が見受けられるので改善しましょう。また、記入が不完全なまま提出物を出す生徒が見受けられましたが、自らの学習を振り返る機会なので、やり遂げて提出するようにしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 3学期の学習では、学習の目標(めあて・ねらい)を示すこと、振り返り(まとめ)の活動をより明確に行うように心掛けます。 家庭科の学習に興味が深まるよう教材の見本を提示したり、ICTを活用したりする授業を積極的に行うよう心掛けます。 	3.7	3.8	3.5	3.2	3.5	2.7	3.9	3.5	3.7	3.8	3.8	3.8	3.5
			<p>自己評価</p> <p>授業評価</p>												
2年英語	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的にコミュニケーション活動や音読練習、暗唱に取り組む生徒が多く見受けられます。 スپرリングコンテストや基本文テスト等の書く課題にも努力し、基礎力を身に付けてきています。一方で、書くことが苦手な生徒の中には、書くことを嫌がり練習せずにきている人もいます。日々の積み重ねを大切に、音読して英文の構成を覚え、書く練習をしていきましょう。 QAやチャット活動を通して流れのあるやりとりができるようになってきています。スピーチ活動等を通して流れのあるまとまった英文も書けるようになってきています。発想を大切に引き続き流れのある会話や文章づくりに取り組んでいきましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きICT教材を活用し興味をもって取り組めるような、分かりやすい教材を工夫していきます。 より豊かな表現活動ができるように、音読・暗唱練習で発音・抑揚・音の連結や感情表現等細部に気を付けた指導を行うとともに暗唱チェックにおいてもアドバイスをしていきます。 ペアやグループでの活動を工夫し、自分の考えを表現し意見交換できるような英語での話し合い活動が進められるように授業構成を考えていきます(話し合い活動解禁時)。 苦手な生徒でも暗唱に取り組めるように音読練習方法を工夫するとともに、授業の中で暗唱ができるように時間を確保していきます。 	3.7	3.8	3.6	3.5	3.4	3.0	3.7	3.3	3.6	3.9	3.7	3.7	3.4
			<p>自己評価</p> <p>授業評価</p>												